

## 日本語母語話者との意見交換場面における 熟達した日本語学習者のアーギュメント構造 —韓国語を母語とした学習者を対象として—

小松 奈々

学位取得年月：平成 22 年 3 月  
取得学位名：人文科学修士  
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】意見交換、 熟達した学習者、 アーギュメント、 発話構造、 発話機能

【要旨】

本研究では、日本語母語話者との意見交換場面において熟達した学習者はどのようなアーギュメントを用いているのかを、長さや理由づけの有無に注目して分析した。その結果、長さに関しては、簡潔な構造を持ち、さらにその中で「理由」「修正」機能を用いてはっきりと主張を表す傾向が見られた。理由づけの有無に関しては、両者が同率で用いられ、理由づけを含む場合は理由の根拠まで示し論理的に、理由づけを含まない場合は主張を補強したりまとめたりしながら述べていることがわかった。以上の結果から、熟達した学習者は意見交換というコンテクストを理解し、自ら発話機会を制限しながらその中で効果的に意見を述べるという高い言語処理能力があることが示唆された。

(こまつ なな)

## 日本語学校生の進路選択自己効力と 進路サポートの関連

酒井 彩

学位取得年月：平成 22 年 3 月  
取得学位名：人文科学修士  
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】日本語学校、 進路選択、 進路選択自己効力、 ソーシャル・サポート

本研究は日本語学校生の進路選択自己効力と学校関係者からの進路サポートとの関連を明らかにすることを目的とし、日本語学校生 419 名を対象に質問紙調査を行った。

その結果、日本語学校生は「自己認識」、「情報収集」、「目標選択」、「計画遂行」という進路選択自己効力を持ち、「心理・指導サポート」、「周辺的情報サポート」、「基本的情報サポート」、「機会提供サポート」という進路サポートを受け取っていると認識していることが明らかになった。さらに、重回帰分析を行ったところ、中国人学生の〈計画遂行〉に〈心理・指導サポート〉、日本語能力が正の影響を及ぼし、韓国人学生の〈目標選択〉に〈基本的情報サポート〉、将来の明確さが正の影響を及ぼしていた。

(さかい あや)